

令和 6 年 4 月

農場 HACCP 認証農場で生産された畜産製品への農場 HACCP  
認証マーク貼付について

公益社団法人 中央畜産会  
衛生指導部

公益社団法人中央畜産会では、農場 HACCP 認証マークを畜産製品へ貼付する制度を平成 30 年 7 月から実施しております。

農場 HACCP 認証農場で生産された畜産製品に対して、農場 HACCP 認証マークの貼付を希望の方は下記の要領で申請をお願いいたします。

記

- 1 申請者は、別添記載例を参考に「使用申請書」（別記様式 1 号）を作成し、中央畜産会に提出してください。なお、貼付の対象とする畜産製品等の詳細については、別記の「農場 HACCP 認証農場で生産された畜産製品への農場 HACCP 認証マーク貼付の考え方」を参照ください。
- 2 中央畜産会は、申請書の内容が「農場 HACCP 認証マークの畜産製品への貼付要領」に適合していることを確認して問題がなければ、許諾契約書 2 部及びマーク使用料の請求書を送付します。
- 3 申請者は、前述の請求書に応じてマーク使用料を振り込むとともに、許諾契約書 2 通に捺印の上、中央畜産会に送付してください。
- 4 中央畜産会は、マーク使用の許諾書及び許諾契約書 1 通を返送します。
- 5 マークの使用枚数が予定を超えた場合には、農場 HACCP 認証マークの畜産製品への「使用変更申請書」を提出してください。
- 6 なお、マーク使用の許諾期間は、使用許諾の日から 3 年間となっています。許諾の更新を希望される場合は、有効期間が満了する日の 3 ヶ月前までに「使用更新申請書」を中央畜産会までお送りください。

7. また、マーク使用の許諾を受けた後は、許諾に係る畜産製品の製造・販売等の状況を「報告書」に記載して、毎年、翌年度の5月末日までに中央畜産会に提出する必要があります。
8. 各種申請書等の様式は、中央畜産会のホームページ；<https://jlia-farm-haccp.jp/farmer.html> からダウンロード可能ですので、ご参照ください。

〈本件に関するお問い合わせ先〉  
公益社団法人中央畜産会 衛生指導部  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-16-2  
(第2デパートアイシビル 9階)  
担当：山本、木島  
TEL：03-6206-0835  
E-mail：eisei@sec.lin.gr.jp

## 別記

### 農場 HACCP 認証農場で生産された畜産製品への 農場 HACCP 認証マーク貼付の考え方

#### 1. マーク貼付の基本的考え方

マーク貼付は、農場 HACCP 認証の消費者等への周知、農場 HACCP 認証の拡大が目的であり、マーク貼付畜産物拡大を必ずしも目的とはしない。

また、対象とする畜産製品は、認証農場由来の畜産物を主体とするものに限定する。

#### 2. 貼付の対象とする畜産製品

「農場 HACCP 認証農場」又は「農場 HACCP 認証農場が所属する企業、農場 HACCP 認証農場が構成員となる農協等」（以下「認証農場等」という。）が直接又は委託契約により製造する畜産製品であって、原則として認証農場以外で生産された畜産物を使用していない製品とする。具体的には、認証農場以外で生産された畜産物を使用していない食肉（牛肉、豚肉及び鶏肉。）、牛乳及び鶏卵並びに加工品（ハム、ソーセージ、ベーコン、ナチュラルチーズ、バター、ヨーグルト、アイスクリーム、加熱・味付け・燻製等された食肉及び鶏卵）とする。（ただし、ソーセージのケーシング、ナチュラルチーズのレンネット（ウシ、ヤギなどの第4胃袋の消化液の抽出物）については上記の基準を適用しない）

なお、加工品に畜産物以外の農産物を風味や食味の向上等の目的で使用することは可能とするが、当該加工品が畜産製品であることに疑念を招く可能性がある場合には、許諾しない。

#### 3. 対象畜産製品の条件

##### (1) 生産段階

食肉にあつては、認証農場の家畜のロット又は個体を他のロット又は個体と区分して出荷したと畜であること。

生乳にあつては、バルククーラーや集乳車を他のロットと区分して集乳し、貯乳タンクも他のロットと区分して利用していること。

鶏卵にあつてはGPセンターで他のロットと区分管理し出荷していること。

## (2) 製造段階

工場等での処理、製造ラインを区分していること又は認証農場等以外の畜産物と同一の処理、製造ラインであっても他のロットと区分して処理製造していること。

また、マーク貼付の対象とする畜産製品は、認証農場以外の畜産物を使用することなく製造することとする。使用が認められる認証農場以外の畜産物は、ソーセージのケーシング及びナチュラルチーズのレンネットとする。

## (3) 流通段階

認証農場等の畜産物であることが確認できるように流通させること。発送伝票等により、農場 HACCP 認証農場の畜産物等であることが確認できる体制を作っていること。

## 4. 表示者の範囲及び単位

「農場 HACCP 認証農場」又は「農場 HACCP 認証農場が所属する企業又は構成員となる農協等」並びにその販売先とする。

なお、販売先で貼付する場合には、認証農場等は販売先と製品貼付許諾契約を締結するとともに、農場 HACCP 認証マークの使用状況を確認するため、製品貼付許諾者に対して、原則として1年に1回以上の立入調査を実施する。

また、販売業者における貼付場所は「パック専門施設に限定し、スーパーマーケット等のバックヤード等は認めない」ものとする。

## 5. マークのデザイン

認証番号（認証機関名 第〇〇号）



認証農場名又は企業名

注1：認証番号及び認証農場名等については、上下の位置を入れ替え、あるいは上下どちらかにまとめて表示することも可とする。

注2：認証マークの色彩（緑色）が貼付する畜産製品の包装の背景色等と調和しない、包装の背景色等の影響で識別しにくくなる等の場合、同マー

クの緑色の彩色部分（白抜き部分を除く）を別の単色とすることができる。

注3：加工品については、認証マークの周辺に、以下のような例に従って、製品に使用された畜産物（牛乳、食肉、鶏卵）が農場 HACCP 認証農場産であることを表記する、またはQRコード等で確認できることを必要とする。

- （記載例）
- ・製品に使用した〇〇は認証農場産である
  - ・認証農場産の畜産物（〇〇）
  - ・認証農場産の畜産物情報



## 6. 貼付マークからの把握

消費者等が貼付マークから認証農場が把握可能となるよう中央畜産会ホームページに情報を掲載する。

## 7. マーク使用手数料（3年間）

- 年間使用枚数 100 万枚を超える . . . . . 15 万円
- 年間使用枚数 50 万枚を超え 100 万枚以下 . . . 10 万円
- 年間使用枚数 10 万枚を超え 50 万枚以下 . . . . 5 万円
- 年間使用枚数 10 万枚以下 . . . . . 3 万円

（個人にあっては2万円）

## 8. 報告の義務

認証マークを畜産製品へ貼付することについて、中央畜産会から許諾された者は、毎年貼付した翌年の5月末日までに報告書を中央畜産会に提出する。

## 別記様式 1 号

令和 年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

住所

氏名又は名称  
代表者役職氏名 ㊟

担当者名  
担当者電話番号  
担当者メールアドレス

### 農場 HACCP 認証マークの畜産製品への使用申請書

農場 HACCP 認証マークの畜産製品への貼付要領の規定に基づき、下記のとおり農場 HACCP 認証マークの使用の許諾を得たいので、関係書類を添付の上、申請します。

#### 記

- 1 許諾を得ようとする農場 HACCP 認証農場由来畜産製品について
  - (1) 農場 HACCP の認証番号（家畜の種類）及び畜産製品の種類（牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、加工品（〇〇）等）
  - (2) 商品概要書（農場 HACCP 認証基準の第 3 章 2 家畜・畜産物の特定を参照）  
別添 1 のとおり（商品ごとに別葉にすること）
- 2 生産から製造・販売の特定状況について  
別添 2 のとおり
- 3 認証マークの貼付を行う者
- 4 認証マーク使用枚数

注 1：農場 HACCP 認証書の写しを添付すること

注 2：加工品については、商品の形態等がわかる説明書、写真等を添付すること

## 商品概要書

申請者 住所

氏名又は名称

## 1 農場 HACCP 認証農場由来畜産製品の種類等

## (1) 畜産製品の種類

(加工品の場合は、畜産物、魚肉、大豆ミート等の原材料を ( ) 内に記載する)

## (2) 生産、製造、出荷及び販売の方法

## 2. 当該畜産物の販売先

販売者氏名又は名称 A	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		
販売者氏名又は名称 B	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		
販売者氏名又は名称 C	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		

**生産から製造・販売の特定状況**

(1) 当該畜産製品の流通経路図 (\*1)

(2) 生産から製造、販売にかかる製造者、事業者等氏名・名称、住所、  
連絡先 (\*2)

(3) 生産・出荷～販売にかかる契約等の締結状況 (運送、製造・処理、流通ルート  
にかかる覚書等の締結状況) 又は流通ルート・区分の特定の方法

注： \*1 生産から製造・販売にいたるまでの経路図  
\*2 複数となる場合には、別様として一覧表で添付



# 【別添記載例 1（鶏卵の場合）】

## 別記様式 1号

令和 年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

住所 ○○県○○市○○町○○  
氏名又は名称 (有) ○○養鶏  
代表者役職氏名  
代表取締役 ○○○○ ⑩

担当者名 ○○○○  
担当者電話番号  
担当者メールアドレス

### 農場HACCP認証マークの畜産製品への使用申請書

農場HACCP認証マークの畜産製品への貼付要領の規定に基づき、下記のとおり農場 HACCP 認証マークの使用の許諾を得たいので、関係書類を添付の上、申請します。

#### 記

- 1 許諾を得ようとする農場 HACCP 認証農場由来畜産製品について
  - (1) 農場 HACCP の認証番号（家畜の種類）及び畜産製品の種類  
（牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、加工品（○○）等）  
認証番号（家畜の種類）：中央畜産会 第○○号（鶏（採卵））  
畜産製品：鶏卵  
（注；「牛（肉用）」ではなく「牛肉」等と畜産製品名を記載してください。）
  - (2) 商品概要書（農場 HACCP 認証基準の第 3 章 2 家畜・畜産物の特定を参照）  
別添 1 のとおり
- 2 生産から製造・販売の特定状況について  
別添 2 のとおり
- 3 認証マーク使用枚数  
○万枚／年

注 1：農場HACCP認証書の写しを添付すること

注 2：加工品については、商品の形態等がわかる説明書、写真等を添付すること

## 商品概要書

申請者 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇  
 氏名又は名称 (有)〇〇養鶏

## 1 農場 HACCP 認証農場由来畜産製品の種類等

## (1) 畜産製品の種類

(加工品の場合は、畜産物、魚肉、大豆ミート等の原材料を ( ) 内に記載する)

鶏卵

## (2) 生産、製造、出荷及び販売の方法

当農場で生産された鶏卵は集卵された後、農場内のGPセンターにおいて選別、パッキング等するとともに認証マークも貼付し、パック卵を(株)〇〇〇〇へ出荷、販売している。なお、発送伝票等により、農場 HACCP 認証農場の畜産物等であることが確認できる体制をとっている。

## 2. 当該畜産物の販売先

販売者氏名又は名称 A (株) 〇〇〇〇	住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	連絡先 TEL : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
販売する当該畜産製品 鶏卵		
販売形態 店頭において 10 個パック及び 6 個パックを販売		
認証マークの表示方法 パック内の表示票に貼付		
販売者氏名又は名称 B	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		
販売者氏名又は名称 C	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		

生産から製造・販売の特定状況

(4) 当該畜産製品の流通経路図 (\*1)

農場 → 認証農場内のGPセンター → 販売先店舗  
(パック詰め・認証マーク貼付)

(5) 生産から製造、販売にかかる製造者、事業者等氏名・名称、住所、  
連絡先 (\*2)

卵生産、格付・パック詰め・マーク貼付：

(有) ○○養鶏

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

販売：(株)○○○○

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

(6) 生産・出荷～販売にかかる契約等の締結状況（運送、製造・処理、流通ルート  
にかかる覚書等の締結状況）又は流通ルート・区分の特定の方法

注： \*1 生産から製造・販売にいたるまでの経路図

\*2 複数となる場合には、別様として一覧表で添付

# 【別添記載例 2（牛肉の場合）】

## 別記様式 1号

令和 年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

住所 ○○県○○市○○町○○  
氏名又は名称 (有) ○○牧場  
代表者役職氏名  
代表取締役 ○○○○ ⑩

担当者名 ○○○○  
担当者電話番号  
担当者メールアドレス

### 農場HACCP認証マークの畜産製品への使用申請書

農場HACCP認証マークの畜産製品への貼付要領の規定に基づき、下記のとおり農場 HACCP 認証マークの使用の許諾を得たいので、関係書類を添付の上、申請します。

### 記

- 1 許諾を得ようとする農場 HACCP 認証農場由来畜産製品について
  - (1) 農場 HACCP の認証番号（家畜の種類）及び畜産製品の種類（牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、加工品（○○）等）  
認証番号：中央畜産会 第○○号（牛（肉用））  
畜産製品：牛肉  
(注；「牛（肉用）」ではなく「牛肉」等と畜産製品名を記載してください。)
  - (2) 商品概要書（農場 HACCP 認証基準の第 3 章 2 家畜・畜産物の特定を参照）  
別添 1 のとおり
- 2 生産から製造・販売の特定状況について  
別添 2 のとおり
- 3 認証マーク使用枚数  
○万枚/年

注 1：農場HACCP認証書の写しを添付すること

注 2：加工品については、商品の形態等がわかる写真等を添付すること

## 商品概要書

申請者 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇  
 氏名又は名称 (株)〇〇畜産

## 1 農場 HACCP 認証農場由来畜産製品の種類等

## (1) 畜産製品の種類

(加工品の場合は、畜産物、魚肉、大豆ミート等の原材料を ( ) 内に記載する)

牛肉

## (2) 生産、製造、出荷及び販売の方法

当社グループ会社である(有)〇〇牧場(農場 HACCP 認証農場)で肥育された牛(生体)を食肉市場(〇〇畜産公社)へ出荷し、と畜、解体された枝肉を、(株)〇〇ミートで加工する。

その後、当社の販売店〇〇に運送し、加工(スライス)、包装、認証マークの貼付等を行い、販売する。

なお、納品書の個体識別番号等により、農場 HACCP 認証農場の畜産物等であることが確認できる。

## 2. 当該畜産物の販売先

販売者氏名又は名称 A (株)〇〇畜産直販店	住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	連絡先 TEL : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
販売する当該畜産製品 牛肉(精肉パック)		
販売形態 店舗内ショーケースに陳列して販売		
認証マークの表示方法 牛肉を包装したパッケージに貼付け		
販売者氏名又は名称 B	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		
販売者氏名又は名称 C	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		

## 別添2

### 生産から製造・販売の特定状況

(7) 当該畜産製品の流通経路図 (\*1)

(有) ○○牧場 → 食肉市場 (○○畜産公社) → (株) ○○ミート → (株) ○○畜産  
直販店  
(と畜・解体) (枝肉加工) (加工、包装、  
マーク貼付、販売)

(8) 生産から製造、販売にかかる製造者、事業者等氏名・名称、住所、  
連絡先 (\*2)

生産：(有) ○○牧場

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

と畜・解体：○○畜産公社【食肉市場】

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

枝肉加工：(株) ○○ミート

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

加工・包装・販売・マーク貼付：(株) ○○畜産 (直販店)

(○○県○○市○○町○○ TEL：○○-○○○○-○○○○)

(9) 生産・出荷～販売にかかる契約等の締結状況 (運送、製造・処理、流通ルート  
にかかる覚書等の締結状況) 又は流通ルート・区分の特定の方法

(有) ○○牧場は、当社のグループ会社である。

○○畜産公社、○○ミート及び運送業者とは、認証農場産の畜産物の分別流通・  
輸送に関する覚書 (別紙のとおり) を締結している。

注： \*1 生産から製造・販売にいたるまでの経路図

\*2 複数となる場合には、別様として一覧表で添付

# 【別添記載例 3（加工品（ハム、ソーセージ）の場合）】 別記様式 1号

令和 年 月 日

公益社団法人中央畜産会  
会長 森山 裕 殿

住所 ○○県○○市○○町○○  
氏名又は名称 (株) ○○ピッグ  
代表者役職氏名  
代表取締役 ○○○○ ⑩

担当者名 ○○○○  
担当者電話番号  
担当者メールアドレス

## 農場HACCP認証マークの畜産製品への使用申請書

農場HACCP認証マークの畜産製品への貼付要領の規定に基づき、下記のとおり農場 HACCP 認証マークの使用の許諾を得たいので、関係書類を添付の上、申請します。

### 記

- 1 許諾を得ようとする農場 HACCP 認証農場由来畜産製品について
  - (1) 農場 HACCP の認証番号（家畜の種類）及び畜産製品の種類（牛乳、牛肉、豚肉、鶏卵、加工品（○○）等）  
認証番号：中央畜産会第○○号（豚）  
畜産製品：加工品（ハム、ソーセージ）  
(注；「牛（肉用）」ではなく「牛肉」等と畜産製品名を記載してください。)
  - (2) 商品概要書（農場 HACCP 認証基準の第 3 章 2 家畜・畜産物の特定を参照）  
別添 1 のとおり
- 2 生産から製造・販売の特定状況について  
別添 2 のとおり
- 3 認証マーク使用枚数  
○万枚／年

注 1：農場HACCP認証書の写しを添付すること

注 2：加工品については、商品の形態等がわかる説明書、写真等を添付すること

## 商品概要書

申請者 住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇氏名又は名称 (株) 〇〇ピッグ

## 1 農場 HACCP 認証農場由来畜産製品の種類等

## (1) 畜産製品の種類

(加工品の場合は、畜産物、魚肉、大豆ミート等の原材料を ( ) 内に記載する)

①〇〇ハム (原材料: 豚肉)

②〇〇ソーセージ (原材料: 豚肉、豚脂、ケーシング)

なお、原材料である畜産物は、ケーシング以外全て認証農場産のものです。

## (2) 生産、製造、出荷及び販売の方法

当農場で肥育した豚 (生体) を食肉流通センターへ出荷し、と畜、解体、部分肉処理、その後、当社の系列会社である (有) 〇〇ハム工房に運送し、ハム及びソーセージを製造、パック詰め、認証マークの貼付等を行う。

製品は、〇〇ハム工房の販売店舗で販売する。

なお、発送伝票等により、農場 HACCP 認証農場の畜産物等であることが確認できる体制をとっている。

## 2. 当該畜産物の販売先

販売者氏名又は名称 A (有) 〇〇ハム工房 直販店舗	住所 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇	連絡先 TEL : 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇
販売する当該畜産製品 ハム、ソーセージ		
販売形態 店頭において、パック詰めのハム、ソーセージを販売		
認証マークの表示方法 ハム、ソーセージの包装パックに貼付		
販売者氏名又は名称 B	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		
販売者氏名又は名称 C	住所	連絡先
販売する当該畜産製品		
販売形態		
認証マークの表示方法		



## 別添2

### 生産から製造・販売の特定状況

(1) 当該畜産製品の流通経路図 (\*1)

認証農場 → 食肉流通センター → (株)〇〇ハム工房 → 直売店舗  
(〇〇県食肉公社)

(2) 生産から製造、販売にかかる製造者、事業者等氏名・名称、住所、連絡先 (\*2)

生産： 株式会社〇〇ピッグ 〇〇農場  
(〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

加工及び販売： 株式会社〇〇ハム工房  
(〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

販売： 〇〇ハム工房直売店舗  
(〇〇県〇〇市〇〇町〇〇 TEL：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇)

(3) 生産・出荷～販売にかかる契約等の締結状況（運送、製造・処理、流通ルートにかかる覚書等の締結状況）又は流通ルート・区分の特定の方法

運送業者とは、認証マーク製品の分別流通に関する覚書（別紙のとおり）を締結している。

〇〇ハム工房は当社の関連会社であり、また、当社と認証マーク貼付に関する契約書（別紙のとおり）を締結している。

注： \*1 生産から製造・販売にいたるまでの経路図

\*2 複数となる場合には、別様として一覧表で添付